

琉球大学学術リポジトリ

学会報告事項

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017411

1. 日程およびプログラム

日 程

- | | |
|-----------------|-------------|
| (1) 10:00-10:10 | 開会のあいさつ |
| (2) 10:10-12:30 | 研究発表(10編) |
| (3) 12:30-13:30 | 昼食, 編集委員会 |
| (4) 13:30-14:40 | 総会 |
| (5) 14:40-14:50 | 休憩 |
| (6) 14:50-16:50 | 特別講演 |
| (7) 16:50-17:30 | 休憩, 研究部会打合せ |
| (8) 17:30-20:00 | 懇親会 |

特別講演会プログラム

- a. 夏野菜の施設栽培
九州大学農学部教授 石橋貞人
- b. ホテイアオイの利用技術
沖縄県農業試験場化学部長 金城清郎

研究発表会プログラム

1. 未利用植物資源の多目的・高度利用システムに関する研究
産振協 川崎聖司
2. キャッサバのエネルギー作物としての特性
第1報 窒素、リン酸、カリがキャッサバ個葉の光合成能力に及ぼす影響
琉大農 村山盛一 他
3. 将来の食肉資源としてのカピバラにおける生産性について
琉大農 川島由次 他
4. 沖縄本島の水資源 ー戦後の水資源開発の歴史と問題点ー
琉大工 三輪信哉
5. 沖縄の農業用水 ー農業用水の使用量の推移についてー
琉大農 吉永安俊
6. The Development of Kenya's Land Resources for
Agriculture through Irrigation and Drainage
ジョモ・ケニヤッタ大 MILTON MAKOKHA (琉大農院)
7. フィルタケーキの施用がレタスの収量と土壤理化学性に及ぼす効果
琉大農 大屋一弘
8. 未利用資源の建材化に関する研究
ー島尻泥岩(クチャ)を原料とする人工軽量骨材の製造ー
沖縄県工試 照屋輝一 他
9. 二相式メタン発酵法によるメタン生産速度の向上
日立造船(株) 木田建次
10. 沖縄におけるエネルギー開発と農業
琉大工 森田大

※ 講演時間10分, 質問時間3分の予定です。

2. 第4回総会議事次第

- 1) 開会の辞
- 2) 議長選出
- 3) 議事
 - ① 昭和58年度事業報告
 - ② 昭和58年度会計報告
 - ③ 昭和59年度事業計画
 - ④ 昭和59年度予算案
 - ⑤ 役員改選
 - ⑥ その他
- 4) 新旧会長のあいさつ
- 5) 閉会の辞

3. 昭和58年度事業報告

A. 継続事業

- a) 第3回総会の開催(58. 8. 27 名護オリオンビール工場)

(総会、特別講演会、見学会、懇親会)

- b) ニュースレターの発行 No.5, 6, 7

(総会資料)

- c) 特別講演会の開催

58. 8. 27 海洋資源の有効利用 藤山虎也氏

” 最近のビール醸造技術の動向 浮島明進氏

59. 5. 19 島嶼的地域開発と資源植物園 小山鐵夫氏
(共催)

- d) 関連資料・文献の収集

ニュースレターによる会員への呼びかけ

- e) 国際交流活動の推進

ブラジルとの技術交流

ハワイ大等へのバイオマスシンポ・プロシーディング寄贈

f) 研究部会活動の活発化

部会活動に関するアンケートおよびその整理, 担当世話役の決定

B. 新規事業

g) 研究会誌発行の準備

編集委員会設置、編集規定・原稿作成要領の制定

h) 第1回研究発表会の準備

4. 昭和58年度会計報告

(昭和58年6月1日~昭和59年5月31日)

【収入】

	58年度予算	決算	増減
繰越金	625,173円	625,173円	
一般会員会費	230,000	124,000	△106,000
特別会員会費	850,000	650,000	△200,000
利息	6,000	9,685	3,685
寄付		211,300	211,300
雑収入		6,000	6,000
計	1,711,173	1,626,158	△85,015

【支出】

1. 事務費			
a 消耗品	50,000	49,100	900
b 通信費	20,000	22,700	△2,700
c 旅費	120,000	104,700	15,300
d 備品費	50,000	40,800	9,200
e 手当			
アルバイト	20,000	20,000	0
事務補助	80,000	79,200	800
f 印刷費	50,000	45,485	4,515
g 振替手数料	5,000	2,700	2,300
h 交通費	10,000	6,500	3,500
2. 事業費			
a 総会費	60,000	50,190	9,810
b 理事会会議費	6,000	3,540	2,460
c 企画委員会会議費	6,000	1,480	4,520
d 部会活動費	100,000	0	4,520
e 特別講演会費	100,000	60,000	40,000
f 技術交流推進費	200,000	40,000	160,000
g ニュースレター印刷費	350,000	165,000	185,000
h ニュースレター発送費	60,000	45,330	14,670
i 研究会誌発行準備金	200,000	0	200,000
j 予備費	224,173	0	224,173
計		736,725	

収支 1,626,158 - 736,725 = 889,433円

昭和 59 年 5 月 31 日

会計監査報告書

南方資源利用技術研究会会則第6条、および9条に基づき、昭和58年度の会計監査をした結果、会計帳簿の記録計算が正確であり、証拠書類との照合においても不正、誤謬は認められません。なお、予算の執行の方法や業務の遂行においても正常かつ適正であることを認めます。

監 査 当 山 清 善 (山)
垣 花 郁 夫 (垣)

5. 昭和59年度事業計画

A. 継続事業

a) 第4回総会（琉球大学、大学会館）

（総会、研究発表会、特別講演会、懇親会、役員改選）

b) ニュースレターの発行 4回

c) 特別講演会の開催

59. 6. 30 夏野菜の施設栽培 石橋真人氏

” ホテイアオイの利用技術 金城清郎氏

その他2回

d) 関連資料・文献の収集

e) 国際交流活動の推進

f) 研究部会活動の推進

活動内容の具体化

B. 新規事業

g) 研究会誌第1号の発行

h) 第1回研究発表会の開催（59. 6. 30）

6. 昭和59年度予算案

(昭和59年6月2日・理事会承認)

【収入】

	59年度予算	58年度予算	備 考
繰越	889,433	625,173	
一般会員会費	200,000	202,000	2,000円×100人 (7人前納)
特別会員会費	800,000	750,000	50,000円×16社
未収会費(一般)	60,000	28,000	2,000円×60人
(特別)	100,000	100,000	50,000円×4社
利息	9,000	6,000	
計	2,058,433	1,711,173	

【支出】

1. 事務費			
✓ a. 消耗品費	50,000	50,000	
✓ b. 通信費	30,000	20,000	
✓ c. 旅費	200,000	120,000	
✓ d. 備品費	10,000	50,000	
✓ e. 手当			
アルバイト	20,000	20,000	
事務補助	80,000	80,000	
f. 印刷費	50,000	50,000	
g. 振替手数料	5,000	5,000	
h. 交通費	10,000	10,000	
2. 事業費			
a. 総会費	25,000	60,000	
b. 理事会会議費	6,000	6,000	
c. 企画委員会会議費	6,000	6,000	
d. 部会活動費	100,000	100,000	
e. 特別講演会費	100,000	100,000	
f. 技術交流推進費	200,000	200,000	
g. ニュースレター印刷費	350,000	350,000	
h. 出版物発送費	100,000	60,000	400,000
i. 研究会誌	316,433	200,000	
j. 予備費	406,433	224,173	
計	2,058,433	1,711,173	

8. 研究部会資料

< 希望活動内容 >

(植物資源部会)

1. 既利用植物資源の利用法徹底研究、未利用植物の研究
2. 植物資源の利用
3. バイオマス
4. 品種保存、育種、植物成分
5. 有用植物を光・水利用の点から探査する
6. 野草の有効利用、バイプロダクツの食糧への開発など
7. 花卉の産地化について調査
8. バガスの多目的利用技術の開発
9. 沖縄式水耕栽培、海藻増殖
10. 未利用植物の食品化
11. 草資源
12. 資料の交換
13. 農用エンジン駆動への動・植物資源の利用
14. 栽培、繁殖
15. 適当なものがあれば調査、実験など
16. 植物資源の内燃機関燃料化
17. 熱帯マメ化植物の導入
18. 資源植物の収集保存と栽培比較試験
19. 青果物の呼吸特性の研究
20. 植物の抽出成分
21. 熱帯植物の新パルプ化法の研究
22. 栽培、機械開発
23. バイオマスランドの実現
24. 新植物（作物）の可能性

(動物資源部会)

1. ウニ・ナマコの人工増殖、亜熱帯畜産（カピペラスンクス）
2. 未利用植物の食品化
3. 家畜の生産
4. 水産動物
5. 資料の交換
6. 植物資源 → 動物生産 → 食資源

↑ ↑
基礎実験 動物実験

上記の観点から、希望順位をつけて見ましたが、必ずしもこの順位にこだわりません。

7. 南方海域産未利用魚の有効利用

(微生物資源部会)

1. メタン発酵
2. 例 微生物利用の廃液処理と菌体利用
3. 光合成菌（ロドシュールドモナスルブランよりユビキノンの抽出）
4. 発酵食品の開発、微生物による農産加工廃キ物の有効利用
5. 資料の交換
6. 糖蜜、バガスの利用、微生物使用
7. 植物生産物の微生物的応用

8. リグニンの分解およびセルロース分解菌
9. バイオガス・肥料、資料化
10. 微生物による有機性物質の資源化
11. アスペルギルス・オリゼを用いた発酵食品「豆腐よう」の普及
12. 糖蜜を原料とする発酵生産に関する研究
13. 好熱菌の育種

(エネルギー部会)

1. アルコール燃料について
2. 亜熱帯、熱帯における植物及び耕地レベルでのエネルギー収率について探査する
3. 例 太陽電池利用の感慨システム
4. 膜利用による食品産業の省エネ化
5. 風力利用の機器の開発
6. 農業生産エネルギーへの活用について
7. 省エネルギーの研究 (製糖業)
8. バイオマスの燃料エネルギー変換システム
9. 廃熱の利用
10. ソーラポンド (無意味でしょうか)
11. 有機性廃棄物のエネルギー資源化
12. 燃料関係
13. 水産食品の保蔵・加工の省エネ化

(開発システム部会)

1. 南方森林資源の開発状況調査
2. 例 微生物利用の廃液処理と菌体利用
3. ホテイアオイよりの粗センイの収集と養魚
4. 地域 (市町村レベル) の開発
5. 膜の製糖への利用
6. 新技術 (新パルプ化法も含む) の工業化の勉強
7. 新しい技術開発に関する文献・情報の収集
8. 水産食品のエンジニアリング・フード製造システム開発

(トータルシステム部会)

1. 植物資源、エネルギー資源などの利用法をトータルシステムで考える
2. バイオマスのシステム化
3. ポテンシャルニーズ
4. 例 バイオマスランド的内容のもの
5. 上記を利用したパルププラントと施設園芸
6. 青果物の流通技術の開発
7. 南方資源の総合利用の勉強をしたい
8. アルコール発酵中心の農工複合体

(その他)

1. 天然ガス排水よりヨードの採集とヨードレシチンの製造、防錆技術の開発 (研究経歴20年)
2. 食品部会: 熱帯、亜熱帯にはその地方に特有な食品の加工技術が発達している。たとえば大豆食品では、東南アジア、特にインドネシアではテンペ、中国や台湾の腐乳、タイ国に置ける T a u - f u - y e e、沖縄においては豆腐ようがある。みそや納豆の類もそうである。このような南方産食品を科学的にとらえ、加工技術を改良し、彼の国へ還元することは本会の目的にも合致す

- るものと思われる。
3. 熱帯、亜熱帯植物等興味あり。シンポジウムや情報交換のための談話会などを開催してほしい。各部会の役員や世話人を決めて活発にやってほしい。旅費や準備など考慮して半年以上前に連絡がほしい。札幌から沖縄までは、大変なので、準備期間がほしい。
 4. 実質的にはオブザーバー的な参加になるかと思えます。
 5. 現在すぐに協力できる体制にありませんが、将来徐々に参入したいと思っております。
 6. 沖縄で行われる会合が多くなりますので、こちらからはほとんど出席できず残念です。
 7. 沖縄県における主として耐久消費材にかかわる生産より廃棄に至る資源循環について、量的、質的な把握を行う。当初は特に建築資材に注目する。
 - ①建築廃材、資材の流通プロセス
 - ②資源、重要動向の長期見通し
 - ③S、D法に基づく、物流の社会システムのモデル化
 以上、社会（沖縄県）を資源フローからとらえ、トータルなモデルの構築をはかる。

活動希望部会

第1希望

(植物資源部会)

四方治五郎

- | | |
|-------|----------------------|
| 大屋 一弘 | 琉球大学農学部土壌・植物栄養学研究室 |
| 宮里 清松 | 琉球大学農学部作物学研究室 |
| 福田 亘博 | 琉球大学農学部生物化学及び栄養化学研究室 |
| 馬場 繁幸 | 琉球大学農学部熱帯造林学研究室 |
| 金城 清郎 | 沖縄県農業試験場 |
| 亀山 朝幸 | オリオンビール株式会社名護工場 |
| 上田 耕平 | 積水化成製品株式会社技術部沖縄出張所 |
| 仲村 実久 | 琉球大学農学部製糖化学研究室 |
| 野瀬 昭博 | 琉球大学農学部作物学研究室 |
| 尚 弘子 | 琉球大学教育学部栄養学研究室 |
| 垣花 郁夫 | 北部製糖株式会社羽地事業所長 |
| 岡田 久義 | エーザイ(株) |
| 石橋 貞人 | 九州大学農学部農産機械工学研究室 |
| 中西 正人 | 三井精糖株式会社技術部 |
| 西村 弘行 | 北海道大学農学部農芸化学科 |
| 松本 聰 | 琉球大学農学部畜産物利用・草地学研究室 |
| 星野 正生 | 琉球大学農学部附属熱帯農学研究施設 |
| 河智 義弘 | 株式会社 食品事業部新規事業開発部 |
| 屋我 嗣良 | 琉球大学農学部林産加工学研究室 |
| 村山 盛一 | 琉球大学農学部作物学研究室 |
| 幸喜 善福 | 琉球大学農学部森林保護・森林工学研究室 |
| 吉田 忠幸 | 三共有機株式会社 |
| 吉崎 繁 | 筑波大学農林工学系 |
| 御田 昭雄 | 化学技術研究所 |
| 山盛 直 | 琉球大学農学部附属演習林 |
| 米盛 重友 | 琉球大学農学部附属熱帯農学研究施設 |
| 安谷屋信一 | 琉球大学農学部園芸学研究室 |
| 永島 一雄 | (株)シーアイエネルギーカイハツ |
| 川端 晶子 | 東京農業大学農学部栄養学科 |
| 下田 博之 | 東京農工大学農学部農場 |

(動物資源部会)

大城 政一 琉球大学農学部畜産環境学・衛生学研究室
本郷富士彌 琉球大学農学部畜産物利用・草地学研究室
小田 良助 岩国短期大学
御木 英昌 鹿児島大学水産学部
川島 由次 琉球大学農学部家畜比較解剖学研究室

(微生物資源部会)

上田誠之助 九州大学農学部微生物工学研究室
安田 正昭 琉球大学農学部農産製造学研究室
古波蔵 健 琉球製糖株式会社製糖課
小林 達治 京都大学農学部農芸化学教室
原田雄二郎 協和発酵工業 (株) 気付 ケイ エフ エンジニアリング株式会社
田幸 正邦 琉球大学農学部製糖化学研究室
吉田 忠幸 三共有機株式会社
田畑 忠行 セイフティエンジニアリング株式会社
桂 正子 琉球大学教育学部食品学研究室
当山 清善 琉球大学農学部応用微生物学研究室
第一製糖 (株) 仲地 昌平
琉球製糖 (株) 新垣 良公

(エネルギー部会)

石井 征亜 岐阜大学農学部
泉 裕己 琉球大学農学部農業機械学研究室
竹田 策三 三重大学農学部農業機械学科
田中俊一郎 鹿児島大学農学部
宮城 調勝 琉球大学農学部農地工学研究室
森田 大 琉球大学工学部建設環境学研究室
神山 寛三 北部製糖株式会社今帰仁事業所長
新里 隆男 琉球大学工学部熱工学研究室
橋口 公一 九州大学農学部農業機械学研究室
永田 雅輝 宮崎大学農学部農業機械学研究室
吉田 忠幸 三共有機株式会社

(開発システム部会)

上野 正実 琉球大学農学部農業機械学研究室
緒方 尤 第一工業製菓株式会社東京事務所
沖野外輝夫 信州大学理学部諏訪臨湖実験所
平良 治男 日本分蜜糖工業会 事務局長
照屋 輝一 沖縄県工業試験場窯業研究室
國府田佳弘 琉球大学農学部農産施設工学研究室
座間味 真 沖縄クルマエビ株式会社
篠原 武夫 琉球大学農学部森林経理・林政学研究室
下田 博之 東京農工大学農学部農場
山田 俊郎 (株) 琉球農業水産研究所

(トータルシステム部会)

秋永 孝義 琉球大学農学部農産施設工学研究室

石川 靖二 株式会社日本設計工業

岡野 昌生 山陽国策パルプ株式会社 (研究開発本部)

名渡山兼昭

野口 宏視 (東硝ビル) サントーエンジニアリング株式会社

日本分蜜糖工業会 (奥武山会館) 森田 郁太郎

富士電機製造 (株) 小平俊実 (メカトロ事業部)